

事務事業	112	安心のみどり整備					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	04	うるおいのあるみどりのまちづくり					
施策	01	みどりと水の豊かなまちづくり					
事業内容							
目的	みどりの持つ防災機能を都市の中に生かし、みどりによる安心のまちづくりを進めます。						
対象・手段	対象：区内全域 手段：接道部緑化の助成						
成果(事業が意図する成果)							
接道部を生垣にすることにより、地震等の災害によるブロック塀の倒壊を未然に防ぎます。また、併せてみどり豊かなまちの実現を図ります。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
接道部緑化助成延長の推移	生垣及び植樹帯の助成延長(累計) 目標：200m/年 単位：m	(平成19)	年度に (2,000m)の水準達成				
		()	年度に ()の水準達成				
		()	年度に ()の水準達成				
成果の達成状況							
	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考	
事業成果指標	目標値1	m	1,200.00	1,400.00	1,600.00	1,800.00	
	実績1	m	716.00	759.00	834.00	864.00	
	= /	%	59.67	54.21	52.12	48.00	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	生垣助成 植樹帯助成 ブロック塀等の撤去	6件 0件 1件	施工延長 75.0m	934,500円			
平成18年度	生垣助成 植樹帯助成 ブロック塀等の撤去	3件 1件 0件	施工延長 22.0m 8.0m	273,000円 40,000円			

部名称		環境土木部		課名称		道とみどりの課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	736	778	956	344	
	人件費	千円	2,501	1,668	1,668	1,656	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	3,237	2,446	2,624	2,000	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	3,237	2,446	2,624	2,000	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	3,231	2,444	2,622	2,000	
	特定財源		6	2	2	0	
	一般財源投入率 /	%	99.81	99.92	99.92	100.00	
職員	常勤職員	人	0.30	0.20	0.20	0.20	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>接道部緑化助成の申請件数は区が意図する件数よりも少ないのが現状です。細街路整備の際に土地所有者並びに建築設計会社等に、防災面や景観面の効果を積極的にPRし、利用者数を増やすことが求められています。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	1	助成実績の伸びは小さいですが、生垣等は着実に増加しています。				
	効率性	2	助成対象の基準の見直しを、公平性の見地から検討、実施しています。				
	実施の成果	2	接道部の緑化は、火の延焼や塀の倒壊を未然に防ぐ等の防災的な効果に加え、日常的に接するみどりの増大に寄与します。				
	行政の関与	2	ブロック塀等の震災時の危険性については、区民も認識してきていますが、これらを生垣等に代えることは多大な負担となるため、区の助成は適切です。				
	妥当性	2	減災社会をめざす中で、区が生垣や植樹帯設置の助成を行うことは妥当です。				
	施策寄与度	2	公平性の見地から助成対象の見直しを行いその後実績が伸びません。今後は、基準を更に見直すと共に安心のみどりの機能、効能を十分PRし、生垣等設置を推進します。				
総合評価	<p>助成の対象及び金額の見直しを5年前に行って以降、助成実績は伸びない状況ですが、接道部に生垣や植樹帯を設けることは減災社会の構築や都市緑化推進の観点から必要性の高い事業であると考えます。18年度は区HPに生垣助成制度を掲載し、また町会にまとまった部数のパンフレットを渡したり、建築課のブロック塀除去の助成制度新設に併せPRを行いました申請件数は伸びませんでした。しかし、少しずつではありますが接道部のみどりは着実に増えており、平成18年度には4件の生垣、植樹帯の設置を助成することによって30mの新たな生垣等が創出されました。</p>						D
							過年度評価
改革方針							17年度 D 16年度 B 15年度 14年度
							方向性
<p>今後は、より制度が活用される方向に基準を見直すと共に、防火、防災のための植栽方法や四季の花が咲く生垣等の設置方法、効能を具体的に、パンフレットや区HPを効果的に活用して区民や事業者へPRし、また、まちづくりに関する事業や細街路整備事業と積極的に連携していくことにより事業の普及促進を図ります。</p>						2	
						手段改善	